



SDGs いしかわ・かなざわダイアログシリーズ第11回



UNITED NATIONS
UNIVERSITY
UNU-IAS
Institute for the Advanced Study
of Sustainability

— SDGs アイデアソン — 「テクノロジーで様々な 社会課題を解決しよう」

SDGsいしかわ・かなざわの様々なセクターのパートナーにご参加いただき
テクノロジーを活用するという視点で、
様々な分野の課題解決へのアプローチを共に考えていきます。
課題解決に取り組む協働のスタートとなることを期待します。

2018 **11.10** SAT
土

13:30-17:30 (開場 13:00)

会場 | DMM.com ラボ
南町オフィス
(金沢市南町6-1 朝日生命ビル8階)

参加者募集 定員 **50名** (先着順)

対象 | SDGsパートナーの方々、
このような取り組みに興味があるの方々
*市民、企業、行政職員、教育機関など属性は問いません。

第1部

インプット

「市民参画型のテクノロジーを
活用した社会課題解決」

講師 福島 健一郎 氏 (一般社団法人 コード・フォー・カナザワ 代表理事)

第2部

アイデアワークショップ

「IT活用で社会の課題を
解決しよう」

参加費 **無料** 申込方法 申し込みフォーム または ホームページからお申し込みください。(詳しくは裏面を
ご覧ください)

主催 一般社団法人コード・フォー・カナザワ

後援 国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット(UNU-IAS OUIK)

— SDGs アイデアソン — 「テクノロジーで様々な社会課題を解決しよう」

プログラム

13:30 ~ 開演、オープニング

13:40 ~ 第1部 インプット

「市民参画型のテクノロジーを活用した社会課題解決」

講師 福島 健一郎 氏
(一般社団法人 コード・フォー・カナザワ 代表理事)

14:30 ~ 休憩

14:40 ~ 第2部 アイデアワークショップ (2時間30分程度)

「IT活用で社会の課題を解決しよう」

その場で実際に解決したい課題を参加者から集め、テーマごとにテーブルを作り、テクノロジーを用いた課題解決を探ります。

1. 課題集め
2. 課題の深掘り
3. 課題の共有
4. アイデア出し
5. アイデアの精緻化
6. 発表

17:15 ~ クロージング

17:30 終了

● 講師プロフィール



福島 健一郎 氏
(ふくしま けんいちろう)

2009年4月に金沢でアイバブリッキングをパートナーと創業。テクノロジーを用いた社会課題解決を続けている。また、地域の課題をITの力で解決するために、2013年5月にCode for Kanazawaを9人で設立。日本で初めてのCode for コミュニティとなった。2014年に一般社団法人化。Code for Kanazawaが開発した「5374(コミナシ).jp」は全国のコミュニティの手で2018年9月末現在で120都市以上に広がった他、「のど・ノット・アローン」や「Ha4go」など多数のアプリ/サービスを輩出。現在は、シビックテックを国内に広げるための活動にも力を入れているほか、シビックテックを実現するための基盤となるオープンデータやオープンガバメントの推進についても精力的に活動を行っている。

申込方法 | 下記必要事項をご明記の上、申し込みフォームか、ホームページからお申し込みください。

申し込みフォーム ▶▶▶



必要記載事項 ①参加者氏名 ②ご所属
③連絡先(メールまたは電話)

ホームページ ▶▶▶

<https://cfk.connpass.com/event/102065/>

お問い合わせ | 一般社団法人 コード・フォー・カナザワ 担当: 耕田

〒920-0024 石川県金沢市西念1-2-33

Tel: 076-282-9426

定員に達した場合は、申込受付を終了させていただきます。その旨は、ホームページにてお知らせします。

お問い合わせがあれば左記までお気軽にお問い合わせください。

※個人情報の利用目的について お送りいただいた個人情報は、本イベントの連絡、運営管理の目的のために利用させていただきます。厳正な管理のもとで保管します。

この活動は、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットが地域のパートナーとすすめる「SDGsいしかわ・かなざわダイアログ」の一環で開催しています。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年9月、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓い、発展途上国のみならず、先進国自身の普遍的な取組を推進しています。

【パートナー】 一般社団法人 コード・フォー・カナザワ

一般社団法人コード・フォー・カナザワは、社会の課題に対してテクノロジーを活用することで解決し、市民一人一人が望む社会の実現に取り組む(これをシビックテックと呼ぶ)非営利団体です。このシビックテックという取り組みは、課題領域を問わず、道具であるテクノロジーを社会に効果的に実装する(組み込んでいく)ことで課題解決につながるかを考えるところが特徴です。